

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖病院 給食業務				
担 当 課 係 名	総務管理 課	- 係	作成者	佐々木 純悦	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画の ページ
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備			
	主要施策	地域医療連携の強化			49
予 算 費 目	病院事業 会計	款	項	目	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☒ 内部管理				
根 拠 法 令 等	医療法				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	住民の生活に不可欠の医療サービスを提供
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	合理的かつ効率的な運営によって経済性を発揮し、最小の経費で最良のサービスを提供
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	合理化、効率化による経費の節減は、サービスの向上ひいては利用者たる住民の福祉の増進に寄与

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	入院可能数 （60床×365日）・ 延べ入院数	目標	人	21,900	21,900	21,900	
			実績	人	8,418	9,385	12,872	
			達成度	%	38.4%	42.9%	58.8%	
	成果指標	給食数	目標	食	25,254	28,155	38,616	
			実績	食	19,738	21,815	25,036	
			達成度	%	78.2%	77.5%	64.8%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				11,113	11,180	12,227	
	人 件 費 (B)		—		23,559	24,213	23,775	
	職 員 数		—		3.00	3.00	3.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				34,672	35,393	36,002	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				338	332	332
		一 般 財 源				34,334	35,061	35,670
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		4,119	3,771	2,797	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		1,087	1,126	1,160	

【事務事業の今までの成果】

常勤医師の不足により、入院患者の減少があり、一日当たり平均患者数が平成18年23.1人、平成19年25.6人となっており、受託可能な入院患者数でないことから委託には至っていない。平成20年は35.2人と患者数が増えており委託を検討したい。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	医療費抑制、医師不足、看護師不足、これらに伴う地域医療の崩壊
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	救急車での搬送を可能とする救急医療体制の復活と病院機能の存続

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	病院運営上不可欠の業務である。 給食業務を民間委託する可能性を検討。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

病院施設管理業務全体を民間委託する方法や一部業務について民間委託の可能性を検討する。
現在の入院患者、食数の状況で委託可能か調査する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	給食業務の全面民間委託化の検討も含め、業務内容の検討を推進すべきと考えます。

一次評価診断図

